

海と森の

房総半島の秘境 大房岬自然公園

こどもキャンプ 2021夏



アウトドアキャンプ



房総半島から突き出し、周囲は海蝕崖と砂浜の小島の大房岬。小高い山の岬は、動植物の宝庫の森に覆われ、サンゴに出会える美しい海に囲まれています。

自然公園内のキャンプ場で、テントに泊まり、薪火で料理し、灯りも自分たちで作る、アウトドアキャンプ。

大房岬自然公園キャンプ場は、2019年夏の台風による甚大な被害で、存続が危ぶまれましたが、スタッフやボランティアの力で見事に復活。その力、姿もぜひ見てください！！

高校生・大学生・社会人のボランティアスタッフ募集中

新型コロナウイルス対応については、密集、密接にならないような配慮と、文部科学省の【学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル～「学校の新しい生活様式」】に基づいた対応を行い、開催します。

7月30日（金）～8月2日（月）

千葉県南房総市・館山市 南房総国定公園 大房岬自然公園キャンプ場
(千葉県南房総市富浦町多田良1212-29)

対象 宮城県気仙沼市在住在学 小学1年～中学3年 定員20名（超えた場合は、抽選）

参加費 小学生 18,000円（食費・活動費・保険代込） 中学生 18,000円+交通費 5,000円
※交通費は小学生は全額、中学生は5,000円を超えるものは当会で支援（小学生約15,000円 中学生約30,000円）

申し込み/メール/電話で 氏名/学校名/学年/生年月日/住所/電話番号/PCからのメールを受信できるメールアドレスを明記下さい。

【申込後の取り消し】申込締切前に必ずご連絡下さい（無料）。 【申込締切後のキャンセル料】①開催2日前まで⇒1,500円
※交通機関キャンセル手数料として ②開催前日・当日⇒参加費の80% ※バス、施設利用等キャンセル代として。

申し込み締め切り 7月17日（土）まで

主催・申込み先 **こども・わらずキャンプ楽会 代表/渡辺和浩 東京都国分寺市北町1-17-6**

メール/ info@codomocamp.com 電話 / 080-5389-2888（19時以降）



プログラム

天候・こどもの様子で変更あり



密集にならないように配慮しながらテント泊、直火・薪火で調理して過ごします。キャンプ場は最低限の電灯以外に電源は無いので、照明も自分たちで工夫します。入浴は温水シャワーを利用。



●大房岬自然公園（南房総国定公園内） 岬に面する館山湾は海面が鏡のように穏やかで「鏡ヶ浦」とも呼ばれ、帆船が停泊する姿も見られます。湾に沈む夕日は「日本の夕陽百選」に選ばれる絶景。環境省の「海水浴場水質調査」で最高レベルの「AAランク」と認定されるほど水が綺麗で、周辺にはサンゴが生息、浅瀬にも生息し、素潜りやシュノーケリングで観察できます。時化後には浜一面にたくさんの種類の貝が打ちあがることもあります。

豊かな森は虫の宝庫で、野生の動物も生息し、散策すると探検気分。他にも、約一千万年前の火山の噴火で海底に堆積したものが、隆起し海蝕により今の姿になった「海蝕崖」、平安時代から枯れることなく流れ続ける不動滝、不思議な伝説の残る「弁財天洞窟」など、秘境感が満載です。

そして大房岬は、黒船来襲の時代から太平洋戦争まで、東京湾を防衛する要塞が築かれた重要な軍事拠点で、昭和初期には軍部の方針などで地図から消されていました。今も当時の砲台跡、探照灯格納庫跡、魚雷艇基地跡、探照灯跡、発電所跡が遺されていて、戦争を語り継ぐ遺跡となっています。

磯遊び 海釣り 海水浴 シュノーケリング

サンゴやたくさんの魚と出会うことのできる海。近くの港は大勢の釣り客があつまる釣果スポット。

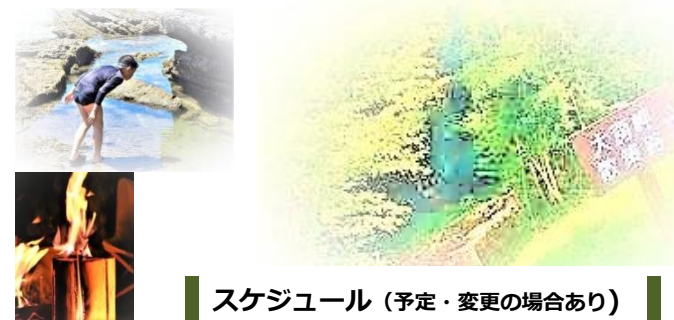
海・森の自然素材でアート 貝、木、石・・・大房岬は自然素材の宝庫。ビーチコーミングや、素材に絵を描いたり、自由にアートやモノづくりを楽しめます。

ナイトウォーク 房総に伝わる伝説を辿りながら、闇夜の中、海岸、森、滝、要塞跡をめぐる。夜の房総はとてとても神秘的、幻想的で、ちょっとスリルがあります。

地元食材と薪火での料理 房総は野菜、魚、果物と美味しい食材の宝庫です！ 地元の食材を使いながら、料理の腕を上げ、アウトドアクッキングを学べます。

館山海中観光船クルーズ 希望者のみ。乗船料別途。小学生1,290円 潜水式の画期的な海中観光船です。従来の海底透視船（グラスボート）とは異なり、三次元の立体的な海中散歩が楽しめます。これまでダイバーの特権だった海面下の未知の世界があなたのものになりました。海草のジャングルの中を豊富な種類の魚が泳ぎ回る、神秘の海中世界へタイムトリップ。

館山クワガタセンター訪問 希望者のみ。見たことのない世界中のクワガタやカブト虫がたくさんいます。幼虫をプレゼントしてもらえるかもしれません！



スケジュール（予定・変更の場合あり）

7月30日 13時会場到着 テント設営 大房岬探索・磯遊び
房総半島・館山市・南房総市を学ぶオリエンテーション
7月31日 大房岬で各プログラム ナイトパーティー
8月1日 大房岬で各プログラム ナイトウォーク
8月2日 館山・南房総市観光後、帰路

集合・解散（予定・時刻は変更の場合あり）

東北新幹線（東京駅乗換）、高速バスで移動。会場までスタッフが引率。
JR一ノ関駅 集合 30日 am7:15頃 解散 2日 pm8:00頃

キャンプの進め方・考え方

- プログラムは子どもが自分で選んだものに参加する形で進めます。大人が決めたスケジュールで、全員参加では行いません。自分の意志で考えること・決めることを大切にしています。大人も子どもも他者の考え、決めたことを尊重し、自分のやりたいことを行います。
- 食事作り等、生活のことは全員参加で、協力・協働して行います。
- 金銭も含め、物品は基本的に自己管理で、責任をもって過ごします。
- こうして、自分と他者を尊重し、自分の意思を大切にしつつ、お互いを認め合う相互の肯定感の中で、協力しながら集団生活を送り、子どもが自信をつけてゆけるキャンプにしてゆきます。

★写真、映像の取り扱いについて

キャンプ期間中に、記録のために写真、映像等を撮影させていただき、活動や団体の広報、助成金をいただいております『子どもゆめ基金』さまへの報告等に使用させていただきます。その他の目的では使用いたしません。よろしくご了解、ご承諾ください。

主催団体／ 子ども・わらざキャンプ楽会 <http://codomocamp.com/>

震災直後から気仙沼市で長期ボランティアを行っていたメンバーを中心に、2011年の夏から12年までに、気仙沼・一ノ関で宿泊行事を9回、日帰り行事を12回開催。13年より以下の目的のもと、新たな子どもキャンプをスタートしました。

- 被災地の子どもが、被災体験を『負の記憶』だけにするのではなく、震災を機に『新たな人や体験、環境との出会いを得られた』と思える活動。
- こどもらしく伸び伸びと、自身の事を見つめながら成長してゆける場づくり、人間関係づくりの活動。
- さまざまな地域の子ども・大人が、被災体験や暮らす地域の違いで分かれることなく、出会い関係を作ってゆける活動。

【過去の開催地】（冬キャンプ）2014・15／栃木県那須町・森林ノ牧場 2016・17・18・19／栃木県那須町・那須町野外研修センター 2020／栃木県那須町・ツリーハウスビレッジ おだぎりガーデン（春キャンプ）2014・15・16・17・18・19／栃木県那須町・ツリーハウスビレッジ おだぎりガーデン（夏キャンプ）2013／千葉館山市 2014／東京都奥多摩町 2015・16／千葉県南房総市・白浜フラワーパーク 2017／千葉県南房総市・みよし交流館 2018／山梨県北都留郡丹波山村 2019／千葉県南房総市・大房岬自然公園キャンプ場